

2018年12月期 決算説明資料



2019年3月1日
株式会社やまびこ

1. 2018年12月期 決算概要	3
2. 2019年12月期 業績見通し	11
3. 中期経営計画2019 主力市場における取り組み	15
添付資料 会社概要など	36

第10期（2017年12月期）は決算期変更により9ヶ月決算※1。
比較参考用として前年同一期間（2017年1月～12月）に調整した数値と比較。

＜10期と11期 決算短信等財務報告数値＞

	2017年				2018年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	第10期				第11期			
3月決算会社 (当社および国内子会社)		1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q

＜前年同一期間と第11期 比較参考用数値※2＞

	2017年				2018年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	前年同一期間				第11期			
3月決算会社 (当社および国内子会社)	2017/3期 4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q

※1. 3月決算会社は4-12月の9ヶ月間、12月決算会社は1-12月の12ヶ月間となります。

2. 比較用に前年同一期間に調整した数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報となります。

1. 2018年12月期 決算概要

主力のOPEは、天候不順の影響を受けて、販売数量が北米は前年並み、国内および欧州は減少したものの、海外農機が堅調に推移したことに加え、産機が国内外とも伸長したことなどにより、売上高は微増。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	市場概況	当社状況 (現地販売)
国内	小型屋外作業機械 (OPE)	●刈払機は畦草刈機などの自走式タイプに需要が移行していることに加え、長引いた天候不順の影響により販売数量は減少。	
	農業用管理機械	●トラクタやコンバインの大型化が進んだ一方、小型機種の販売が減少するなど1-12月の農業機械出荷額は前年比1.3%減（日本農業機械工業会）。	
	一般産業用機械	●人材不足や2017年の排出ガス規制特需の反動減などにより、1-12月の建設機械出荷額は前年比5.4%減（日本建設機械工業会）。	
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	●北米市場：5月以降、天候回復により販売に回復が見られたものの、それまでの低温による天候不順の影響が残った。	
		●中南米市場：政情不安・経済問題が継続しており、低迷。	
		●欧州市場：西欧は天候不順の影響から回復傾向となったものの、ロシア経済の低迷が続いた。	
	農業用管理機械	●北米市場：穀物価格は低迷が続く。	

2018年12月期 経営成績



(百万円)	前年同一期間 調整後実績 (未監査)		18/12期 実績	前年同期比	
		構成比 (%)		構成比 (%)	(%)
売上高	116,915	100.0	118,049	100.0	+ 1.0
売上原価	83,664	71.6	84,783	71.8	+ 1.3
販管費	27,283	23.3	26,976	22.9	▲ 1.1
営業利益	5,967	5.1	6,290	5.3	+ 5.4
経常利益	6,311	5.4	5,957	5.0	▲ 5.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,577	3.1	4,188	3.5	+ 17.1

為替レート ※期初の想定為替レートは1ドル110円、1ユーロ130円。

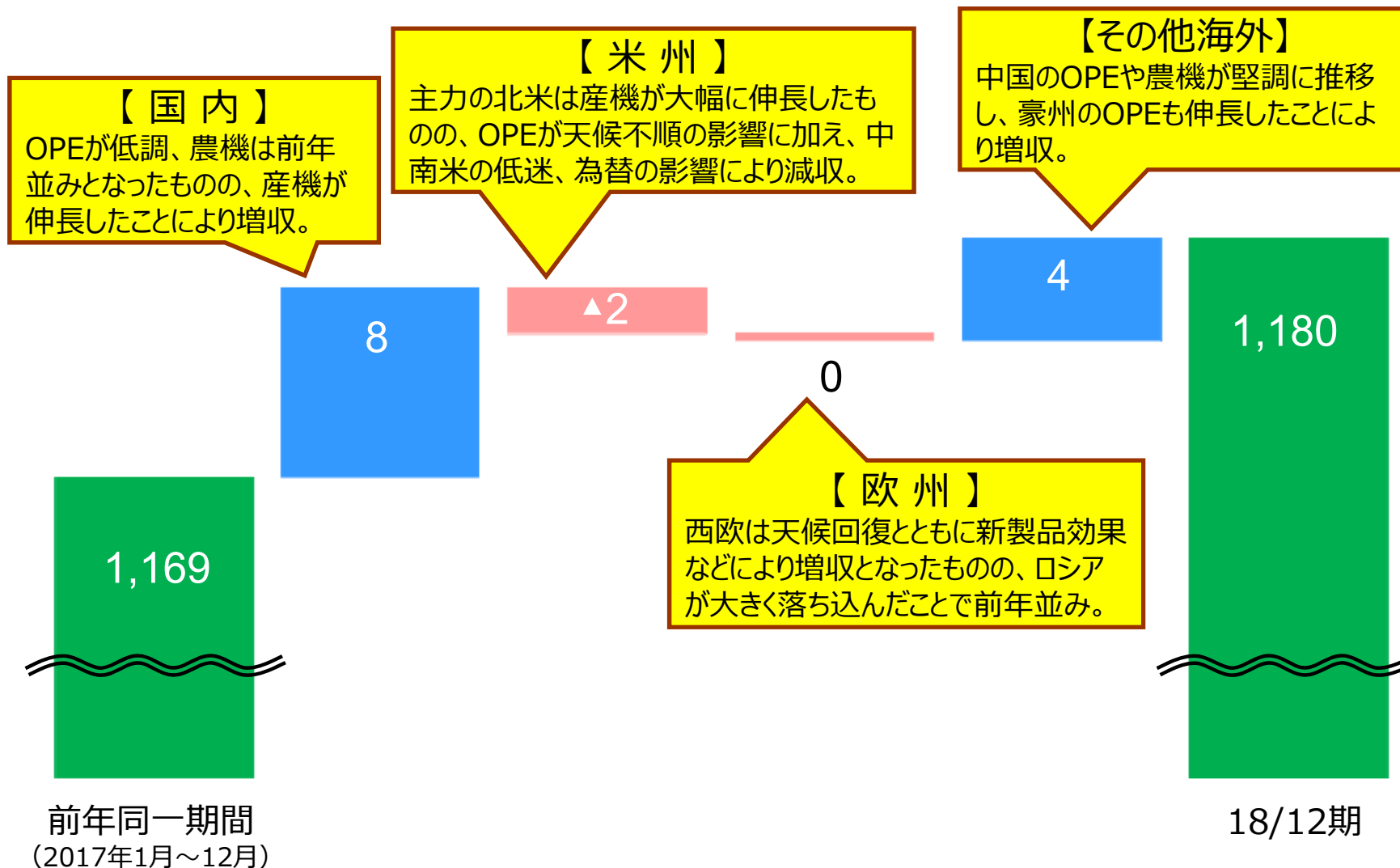
1ドル	当社レート	112 円	110 円	▲ 1.6
	米国子会社 換算レート	112 円	110 円	▲ 1.5
1ユーロ		125 円	131 円	+ 4.9

- ✓ 売上高は、小型屋外作業機械が低迷したものの、農業用管理機械が堅調だったほか、一般産業用機械が伸長したことにより微増。
- ✓ 営業利益は一時的な原価率の上昇などがあったものの、販売数量増などによる利益の押上げにより増益。経常利益は主に為替差損の影響により減益。最終利益は米国子会社の法人税が減少したことなどにより増益。

(注) 18/12期より全ての子会社および関連会社を連結の範囲に含めております。なお、この連結範囲の変更による売上高および損益への影響は軽微です。

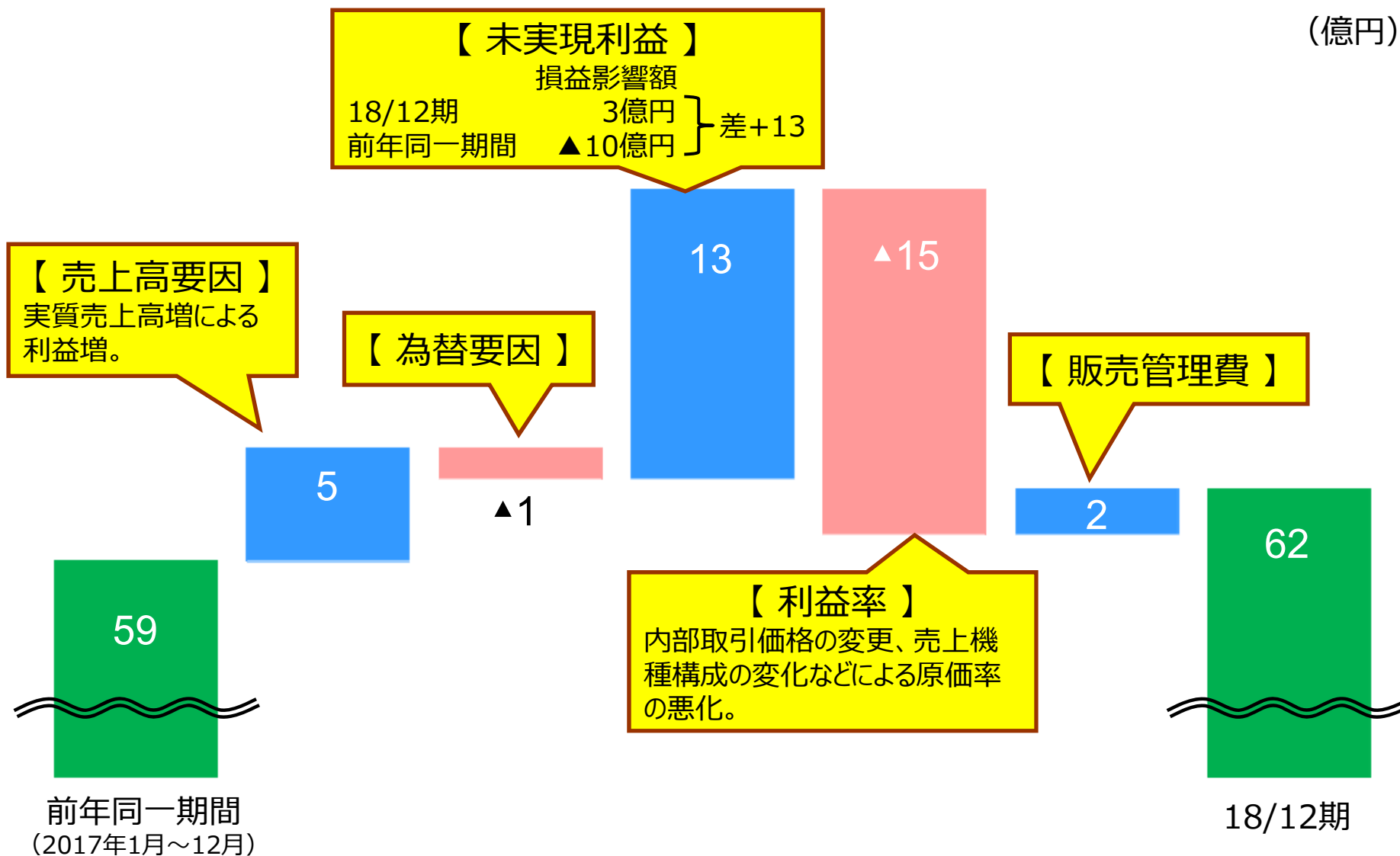
連結売上高の増減

(億円)



連結営業利益の増減

(億円)



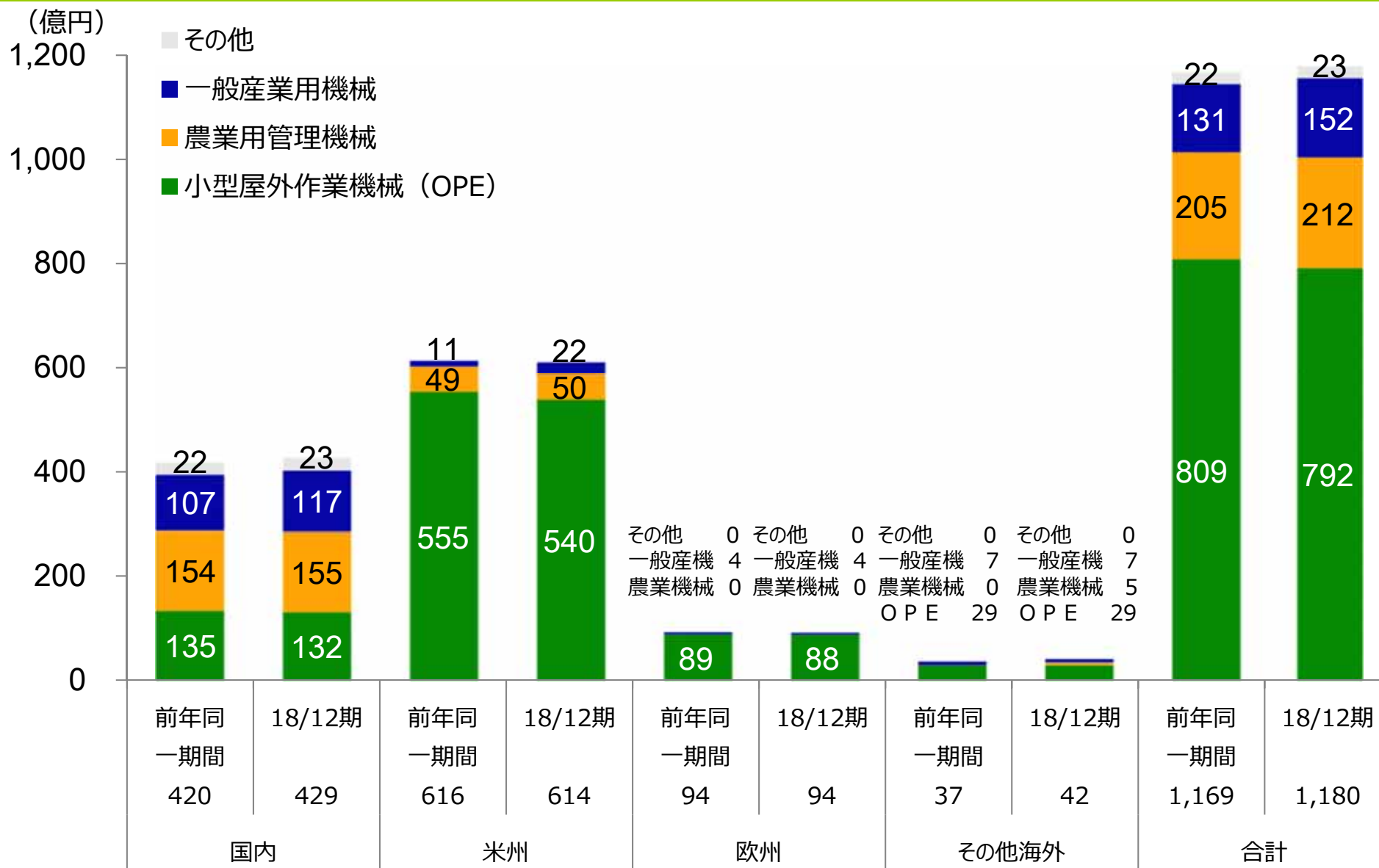
セグメント別経営成績



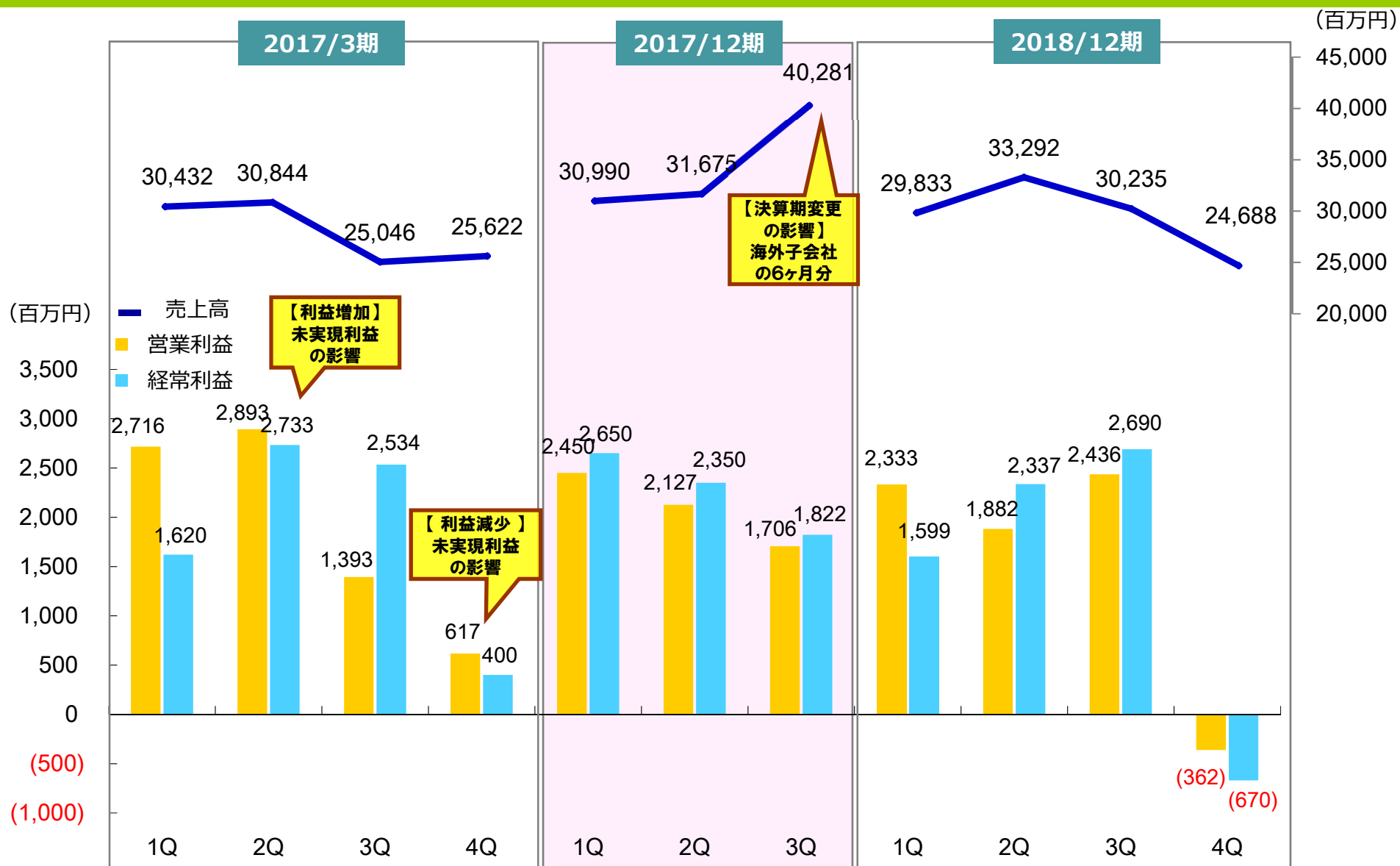
(百万円)	前年同一期間 調整後実績 (未監査)		18/12期 実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	116,915	100.0	118,049	100.0	+ 1.0
小型屋外作業機械	80,975	69.3	79,231	67.1	▲ 2.2
農業用管理機械	20,538	17.6	21,206	18.0	+ 3.3
一般産業用機械	13,139	11.2	15,248	12.9	+ 16.0
その他	2,261	1.9	2,362	2.0	+ 4.5
営業利益	5,967	-	6,290	-	+ 5.4
小型屋外作業機械	11,887	199.2	11,204	178.1	▲ 5.7
農業用管理機械	▲ 411	▲ 6.9	▲ 100	▲ 1.6	-
一般産業用機械	▲ 1	0.0	756	12.0	-
その他	399	6.7	399	6.3	▲ 0.1
全社共通費	▲ 5,906	-	▲ 5,969	-	-

(注) 18/12期より全ての子会社および関連会社を連結の範囲に含めております。なお、この連結範囲の変更による売上高および損益への影響は軽微です。

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



※17/12期は決算期を変更したため、9ヶ月決算となります。第3四半期は海外子会社のみ6ヶ月分の数値となります。

2. 2019年12月期 業績見通し

2019年12月期（通期） 予想



(百万円)	18/12期 実績		19/12期 予想			19/12期 中期経営計画
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)	
売上高	118,049	100.0	125,000	100.0	+ 5.9	125,000
売上原価	84,783	71.8	90,500	72.4	+ 6.7	88,700
販管費	26,976	22.9	28,000	22.4	+ 3.8	27,500
営業利益	6,290	5.3	6,500	+ 5.2	+ 3.3	8,800
経常利益	5,957	5.0	6,300	+ 5.0	+ 5.8	8,700
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,188	3.5	4,500	+ 3.6	+ 7.4	5,700

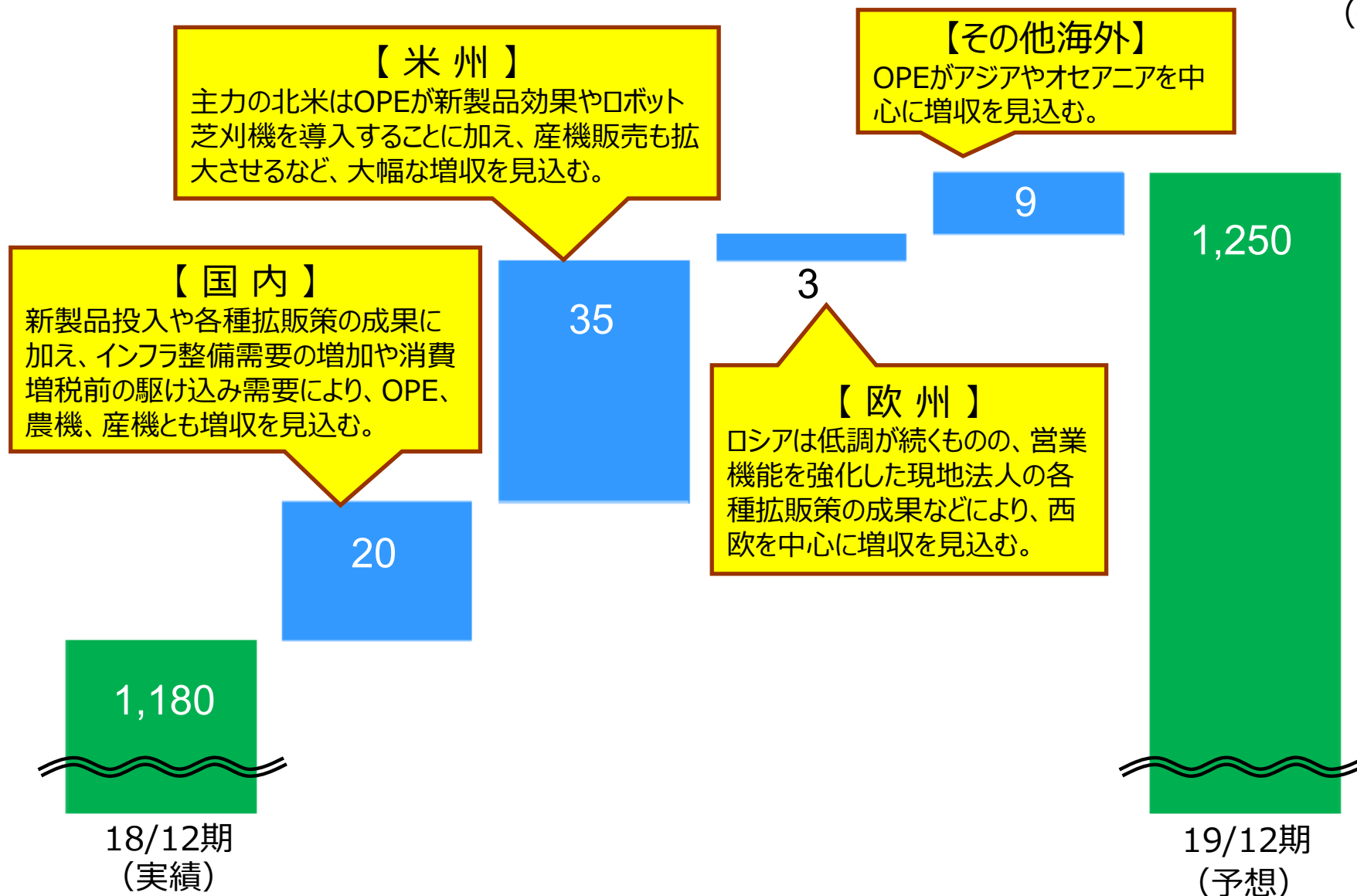
為替レート

1ドル	当社レート	110 円	110 円	▲ 0	110 円
	米国子会社 換算レート	110 円	110 円	▲ 0	110 円
1ユーロ		131 円	125 円	▲ 4.6	120 円

- ✓ 売上高は、国内が堅調、海外も主力市場の北米および欧州が回復し、全体は増収見込。
- ✓ 損益面は、米中通商問題による関税の影響や米国の人件費増加などが下押し要因となるものの、販売数量の増加や生産効率の改善により営業増益見込。経常利益、最終利益とも増益見込。

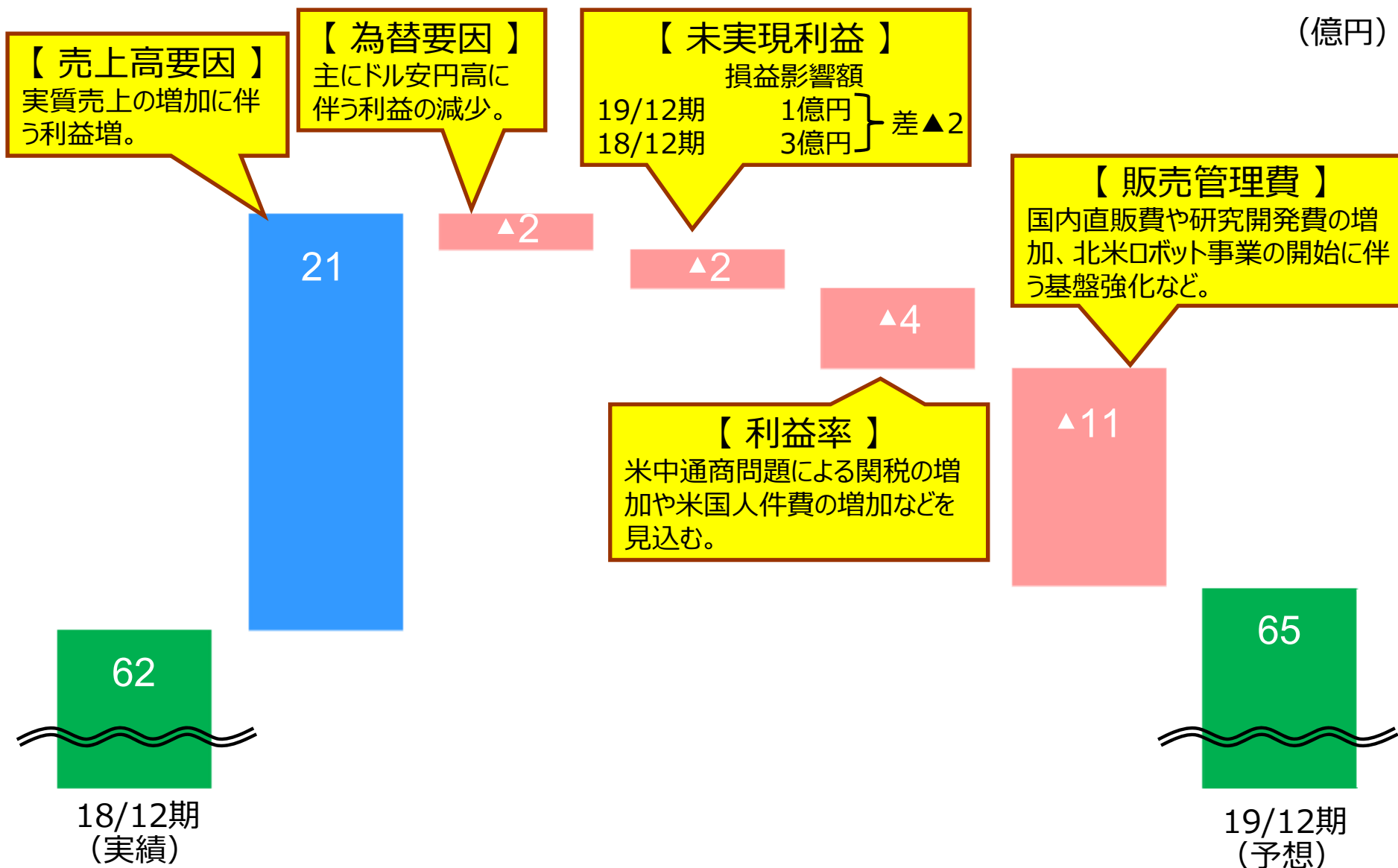
連結売上高の増減（予想）

(億円)



連結営業利益の増減（予想）

（億円）



3. 中期経営計画2019 主力市場における取り組み

北米

19/12期 売上高目標
560億円
(+11%)

代理店およびホームデパートの売上拡大による、ブランド力とシェアの更なる向上

日本

19/12期 売上高目標
140億円
(+8%)

販路およびOEM供給の拡大とサービス力の強化によるシェア拡大

欧州

19/12期 売上高目標
104億円
(+16%)

主要代理店の成長戦略の実現とロボット芝刈機の拡販による、ブランド認知度の向上

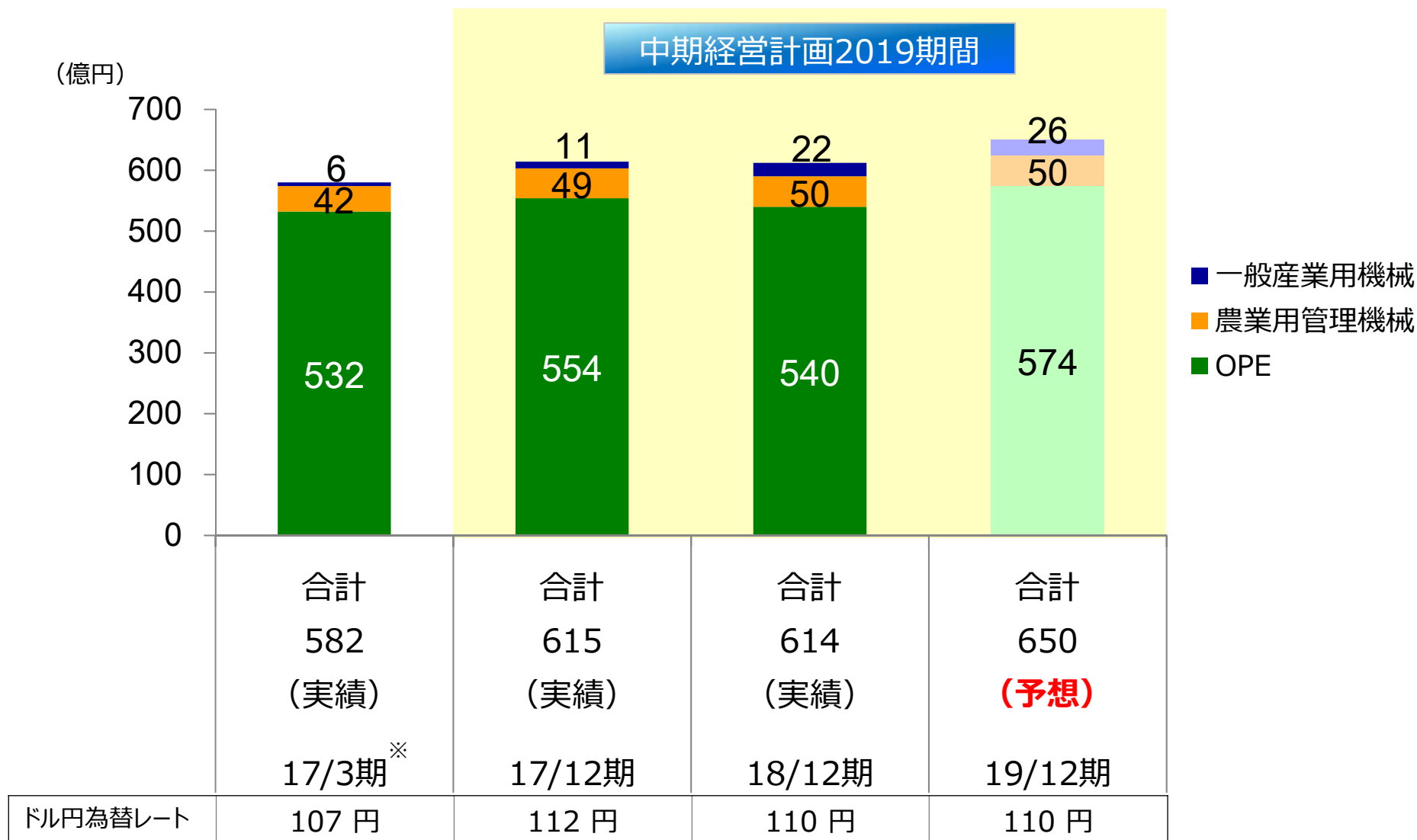
その他海外

19/12期 売上高目標
64億円
(+12%)

中国市場の販路開拓・深耕とアジア等市場への価格競争力のある製品投入による売上拡大

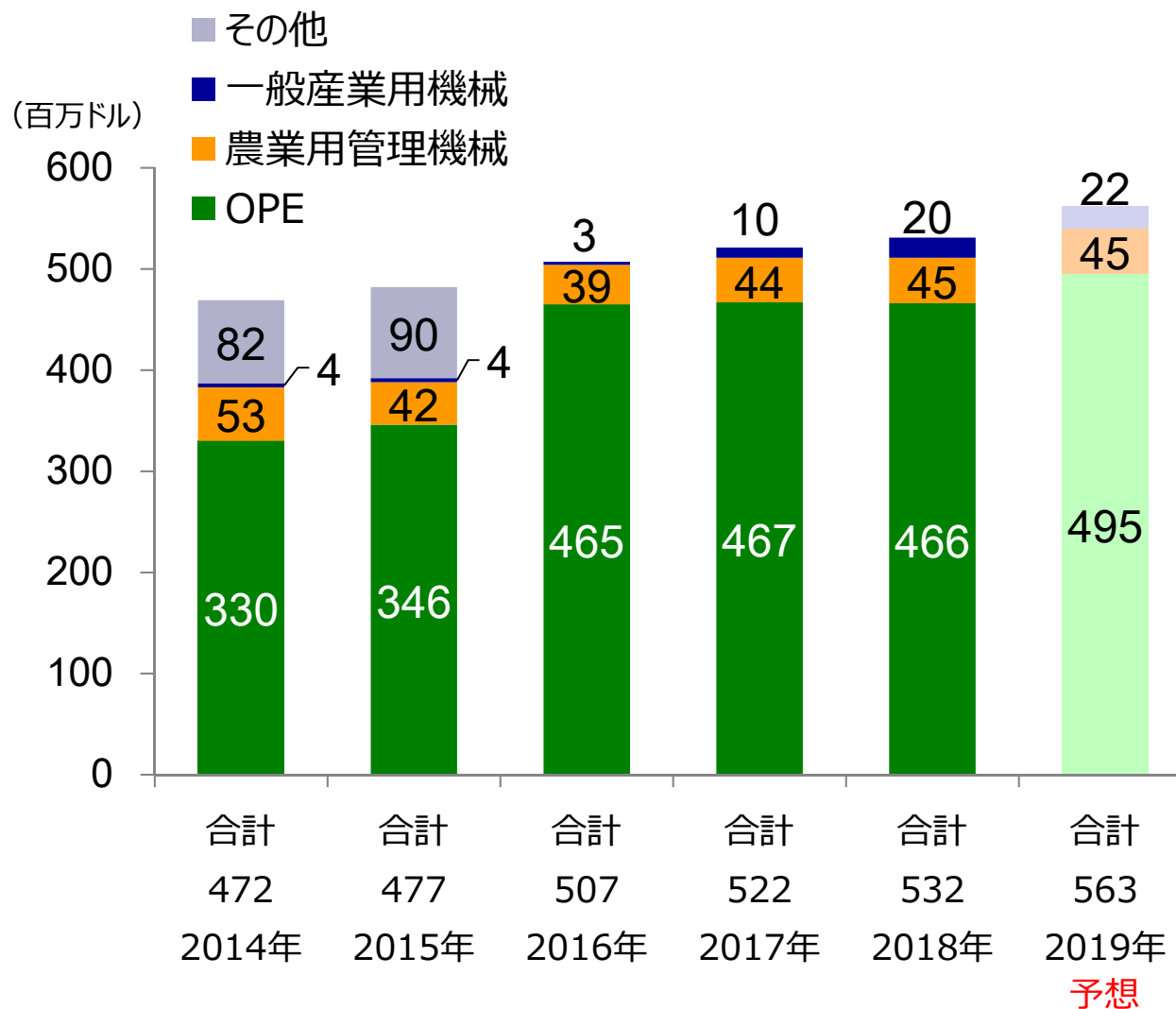
(カッコ内はすべて17/3期に対する増加率)

セグメント別売上高計画（米州）



※17/12期よりセグメント内容を変更したため、17/3期を組替再表示しております（未監査）。

主力市場（北米）：セグメント別売上高実績【現地通貨ベース】

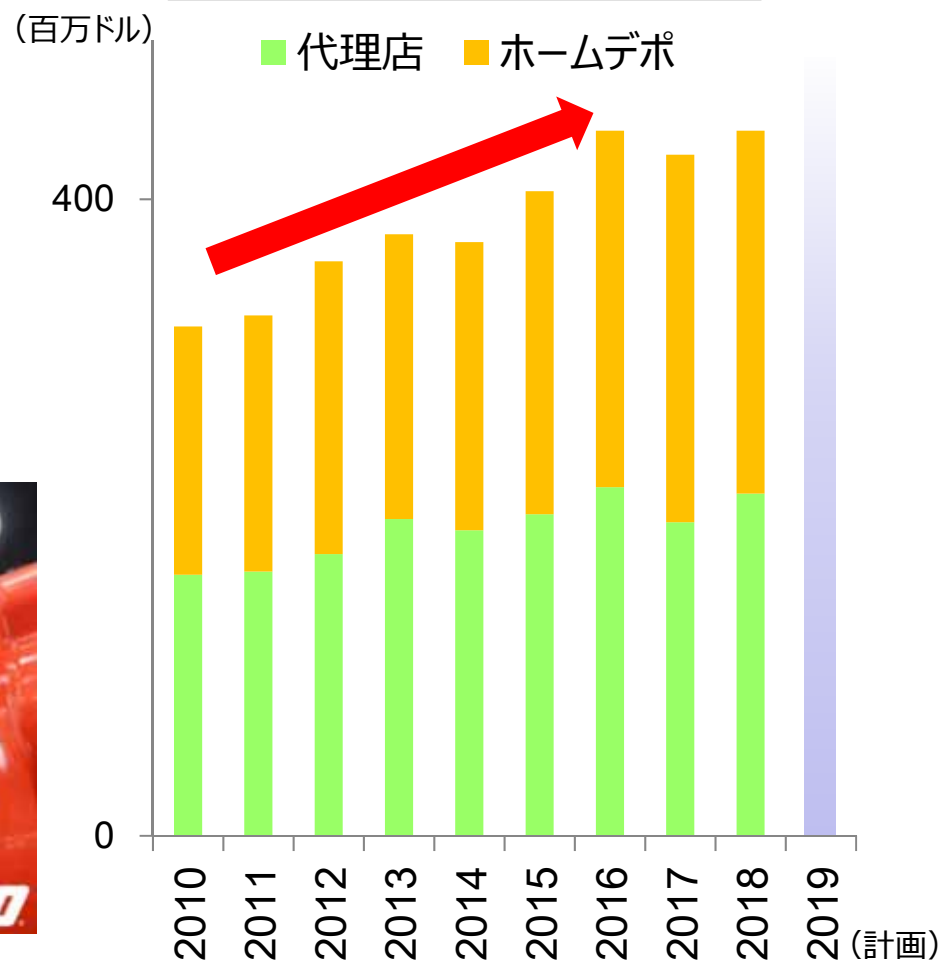


(注) 2017年1月よりセグメント内容を変更しております。

- プロ向け製品・プロモーション展開（Xシリーズの推進）
- 取扱店舗数の増加
- ホームオーナー向け市場深耕（MLB・MLS看板広告など）
- 収益性の高いアクセサリの拡販



米国子会社の主ルート別
売上高推移（現地通貨ベース）



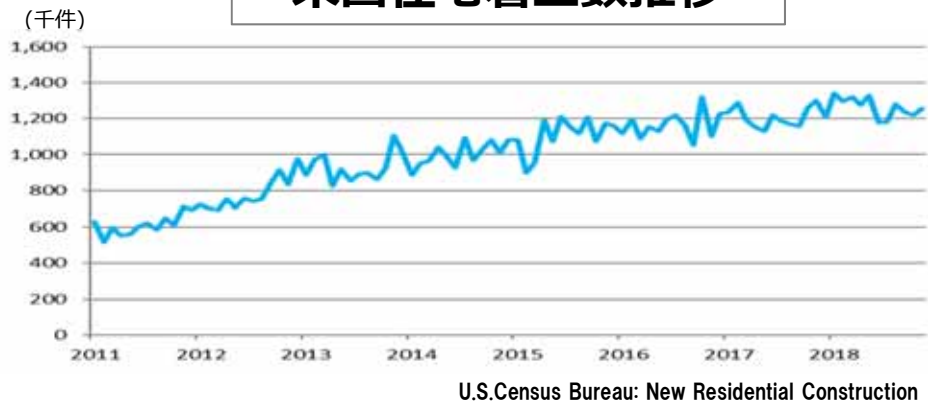
※上記数字は米国子会社の実績であり、内部消去は未実施。

業界をリードするプロ向け製品の投入によるシェア拡大

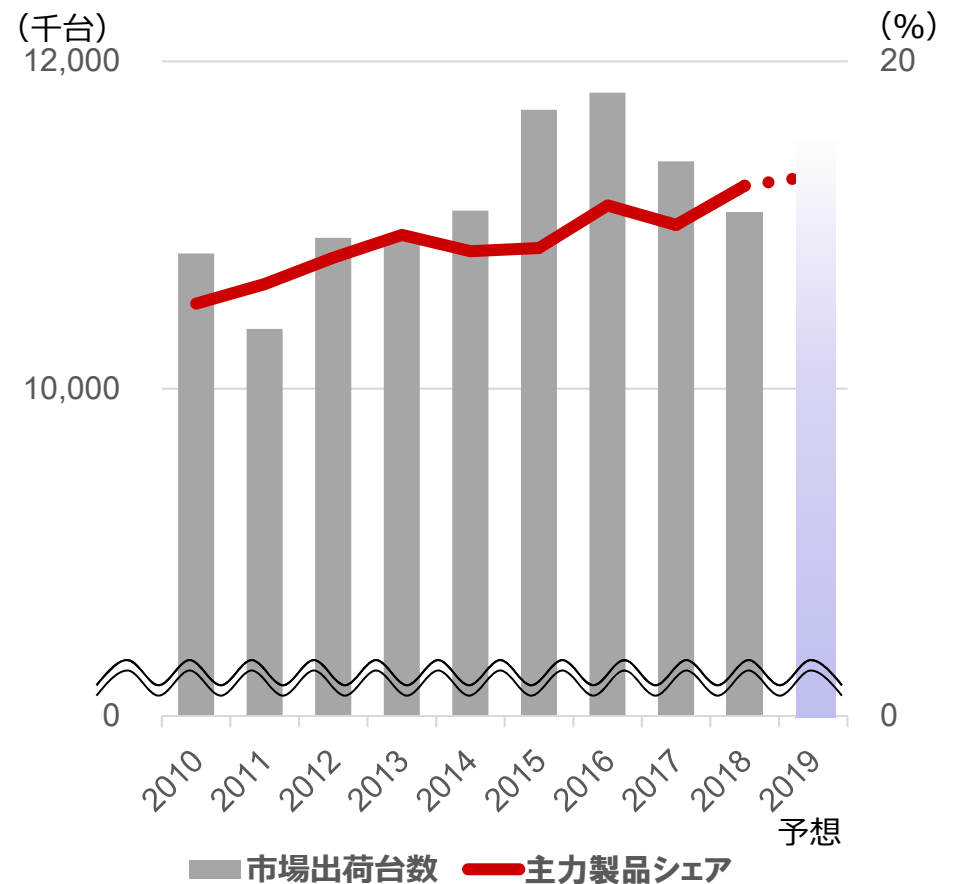
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
刈払機					
チェーンソー					
パワーブロウ					
ヘッジトリマー					

19年はエンジン製品市場も回復。更なるシェア向上を目指す。

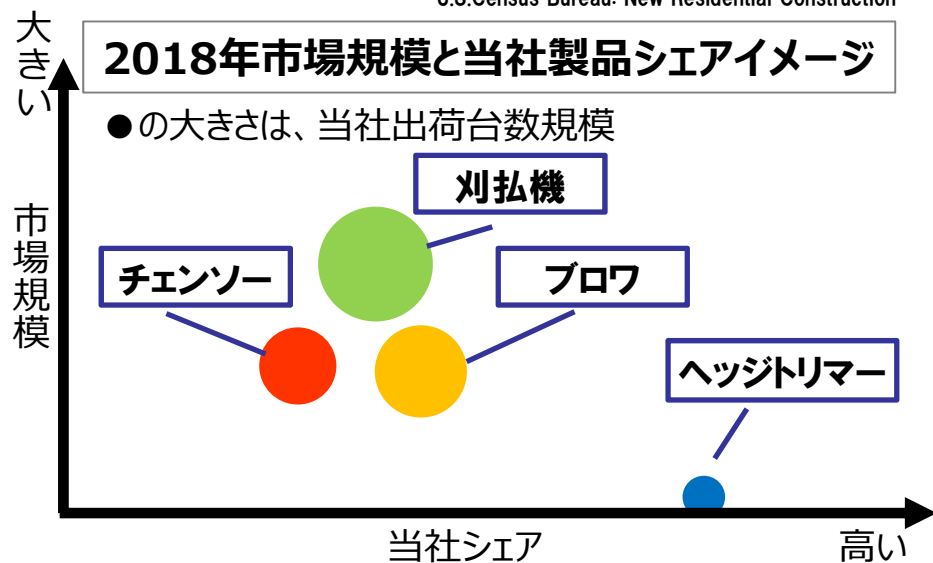
米国住宅着工数推移



市場出荷台数と当社製品シェア実績推移



2018年市場規模と当社製品シェアイメージ



出所：当社推計

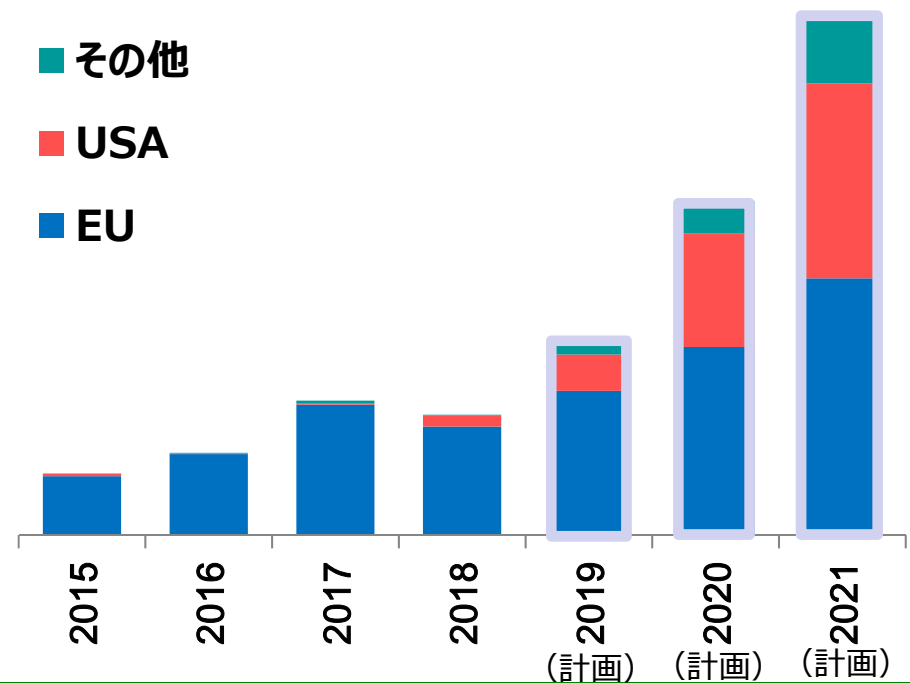
19年から北米市場販売開始、スポーツフィールド中心に拡販目指す。

- 新型ロボットのECHOブランド化、最も拡販が見込まれる北米市場へ参入
- 米国子会社の基盤拡充、販売網の開拓は順調、19年販売開始
- 2019 STMA INNOVATIVE AWARD 受賞



TM-2000

販売台数実績（計画）



北米

19/12期 売上高目標

560億円
(+11%)

代理店およびホームデパートの売上拡大による、ブランド力とシェアの更なる向上

日本

19/12期 売上高目標

140億円
(+8%)

販路およびOEM供給の拡大とサービス力の強化によるシェア拡大

欧州

19/12期 売上高目標

104億円
(+16%)

主要代理店の成長戦略の実現とロボット芝刈機の拡販による、ブランド認知度の向上

その他海外

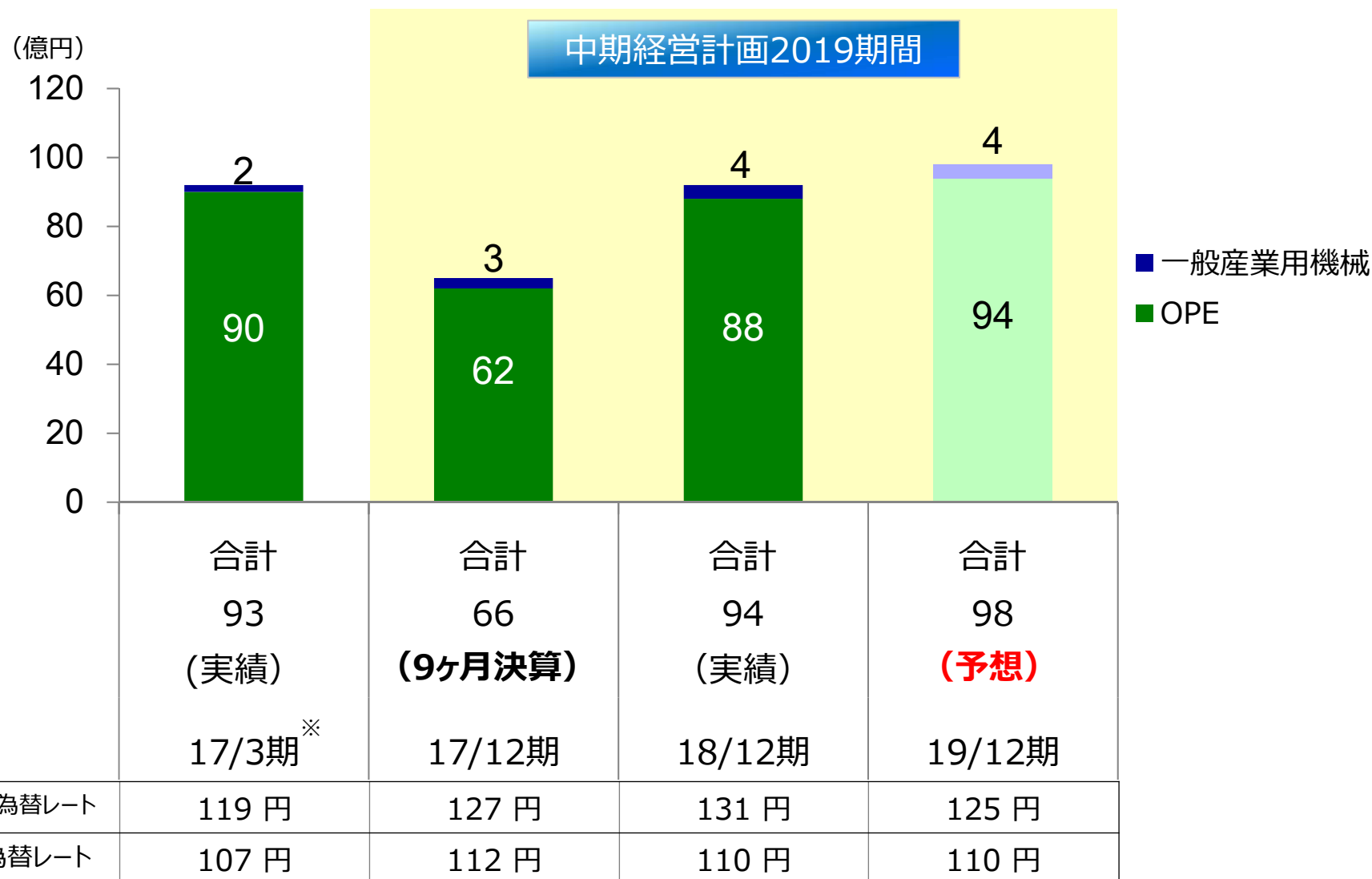
19/12期 売上高目標

64億円
(+12%)

中国市場の販路開拓・深耕とアジア等市場への価格競争力のある製品投入による売上拡大

(カッコ内はすべて17/3期に対する増加率)

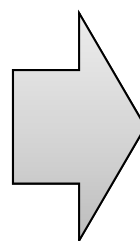
セグメント別売上高計画（欧州・ロシア）



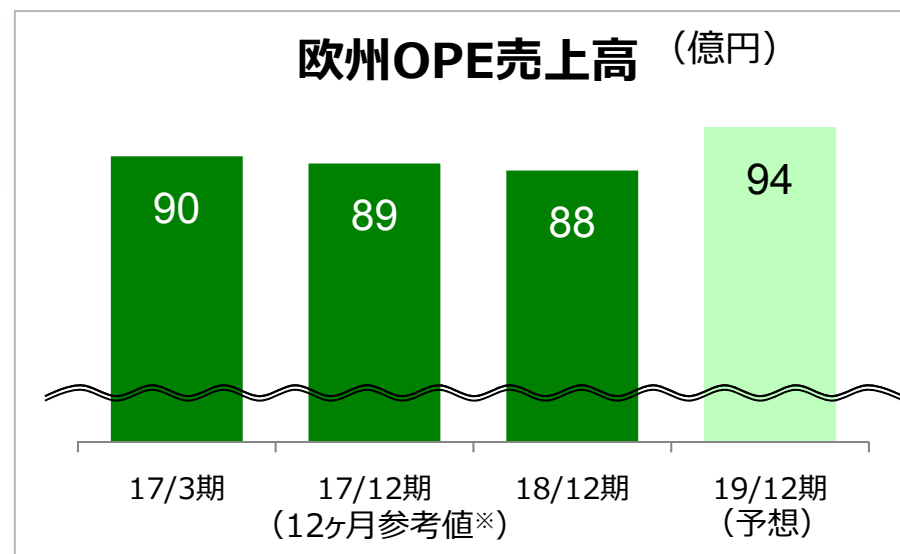
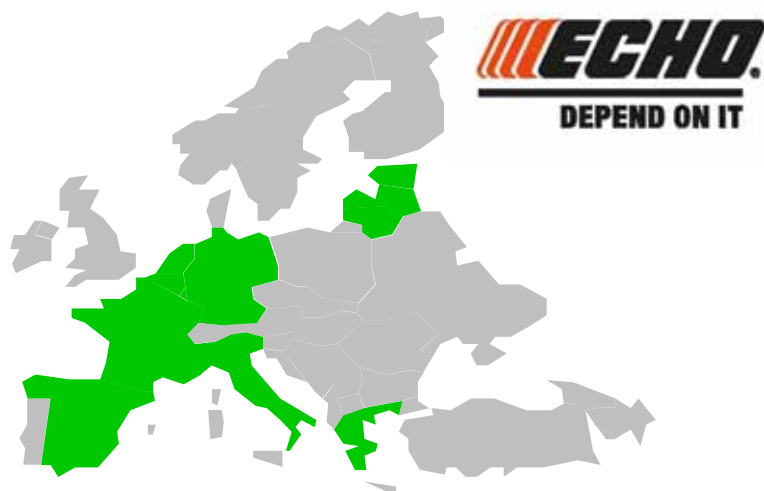
※17/12期よりセグメント内容を変更したため、17/3期を組替再表示しております（未監査）。

やまびこヨーロッパの本格稼働

- 主要代理店の成長戦略を実現
- 重点国はフランス、イタリア、ドイツ、スペイン、ベネルクス3国、ギリシャ、バルト3国
- ロボット芝刈機の拡販
- デジタルマーケティングの強化



プロ向け製品拡充
プロ市場での地位拡大
ブランド力の向上



※決算期変更に伴い、比較対象期間を同期間（12ヶ月間）に置き換えて算出した数値。

チェーンソーのラインアップ拡充など積極的な新製品投入を予定

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
刈払機					
チェーンソー					
パワーブロウ					
ヘッジトリマー					

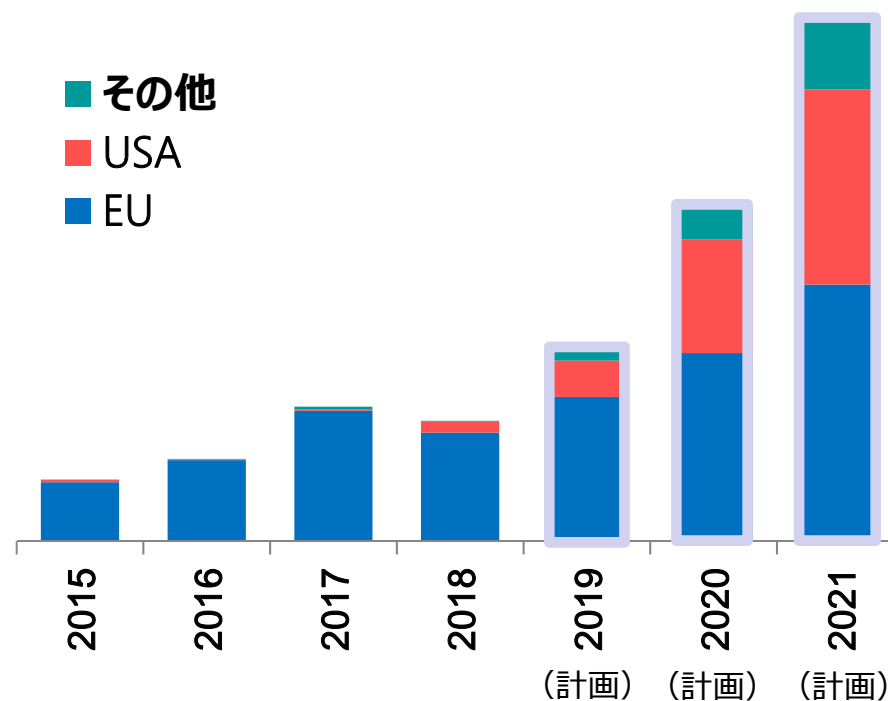
販路の開拓を推進し、販売拡大を目指す。

- 市場は今後も力強い成長が続く見通し
- 空港など新規需要の開拓

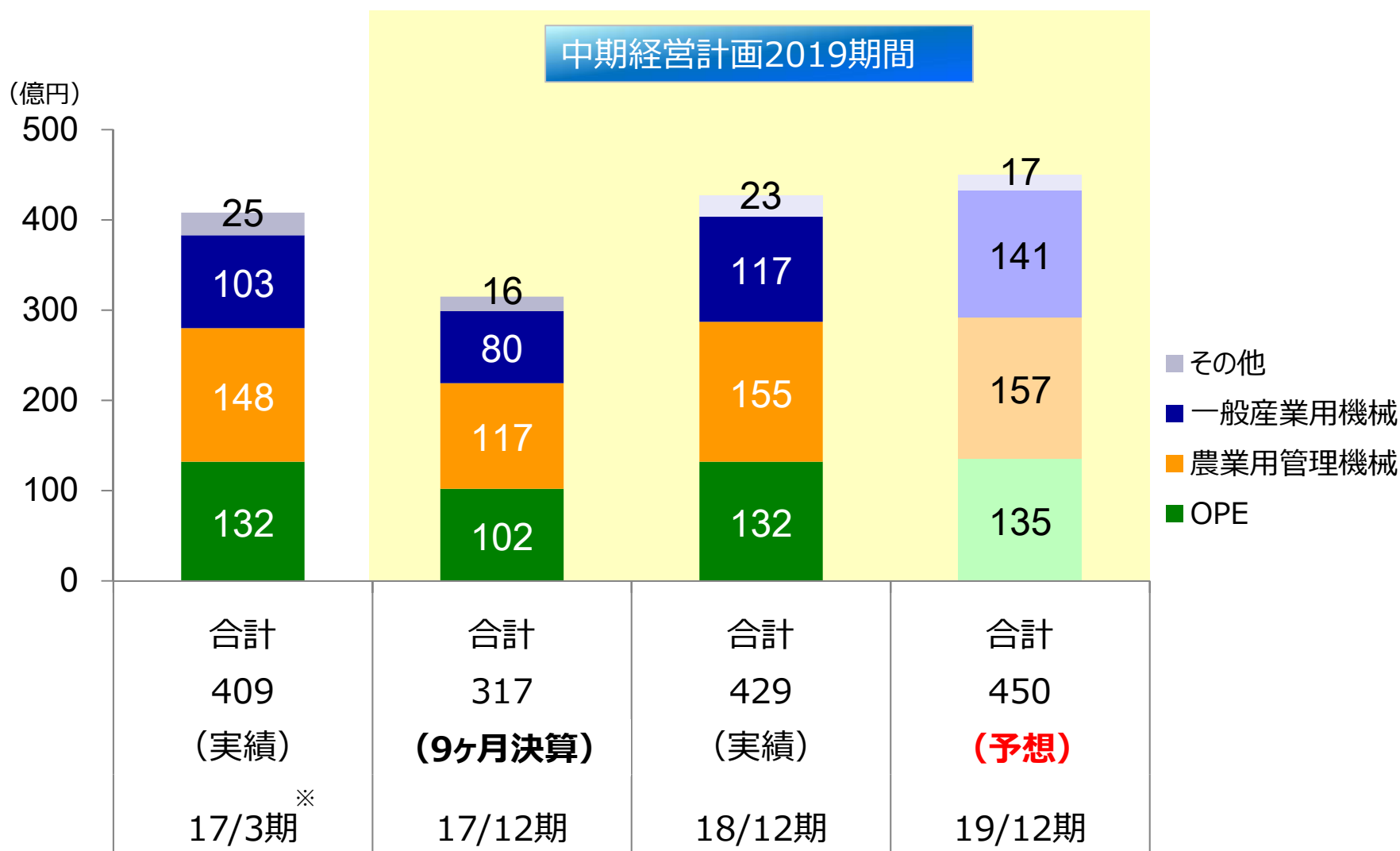


やまびこヨーロッパ・エス・エイ

販売台数実績（計画）



セグメント別売上高計画（日本）



※17/12期よりセグメント内容を変更したため、17/3期を組替再表示しております（未監査）。

販社統合のシナジー効果により、3事業とも成長継続を見込む

- 各種キャンペーンの積極的な展開による販売拡大

OPE 農機 産機

- 水稻から畑作へシフトする農家の需要をつかんだ農業機械製品の拡販

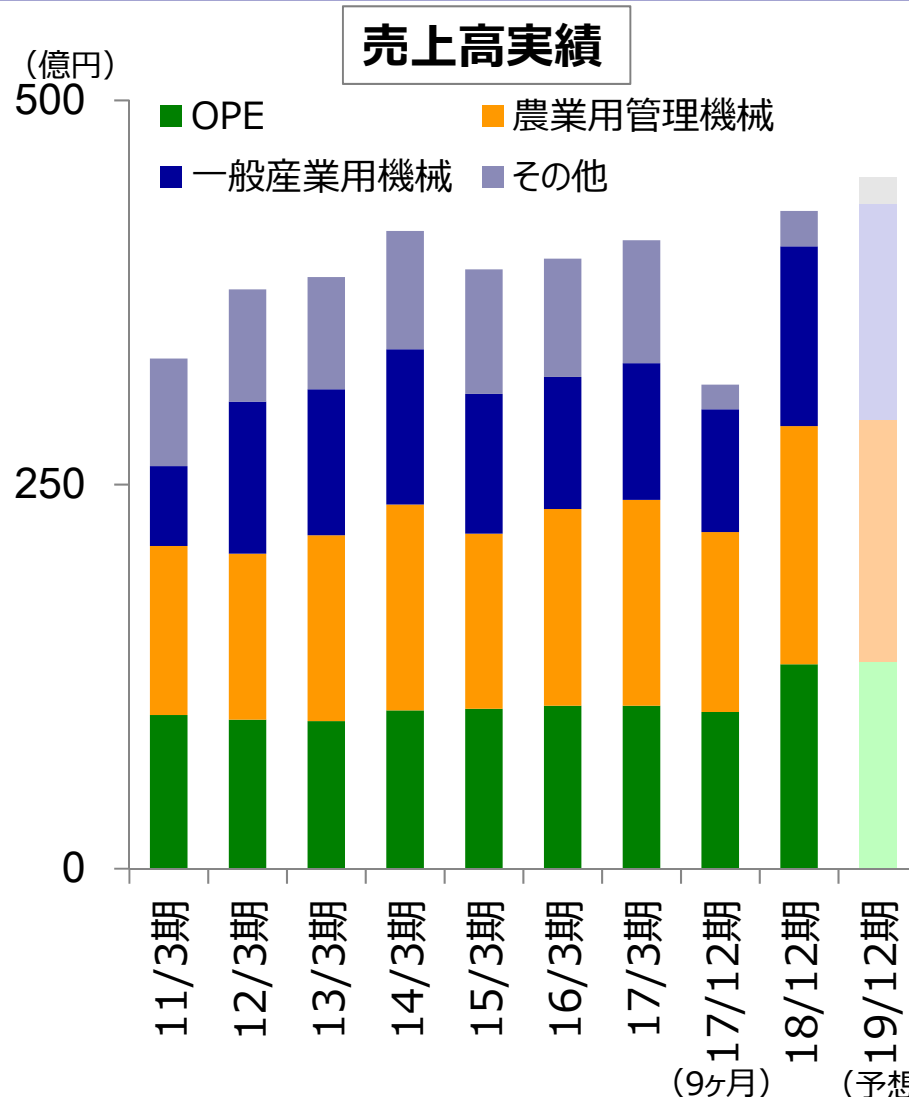
農機

- 堅調な建設需要、インフラ投資需要を取り込み、産業機械製品の拡販を見込む

産機



DGM80BMK



セグメント別基本方針（産機）

日本

19/12期 売上高
110億円
(+7%) **達成**

- オリンピック需要等の取込
- 製品競争力の強化
- 販売・サービス力の強化

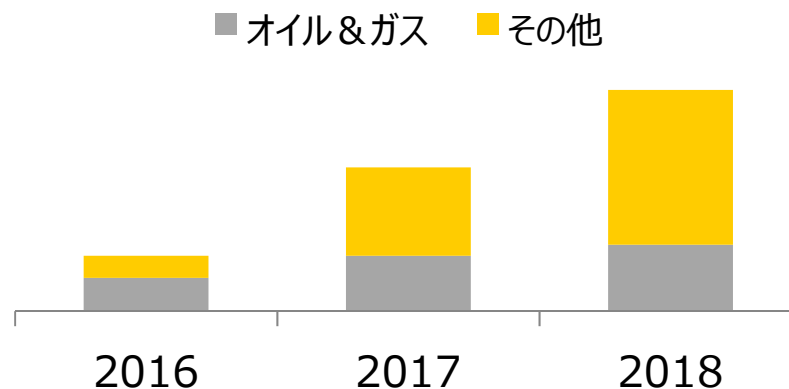
海外

19/12期 売上高
32億円
(+130%) **達成**

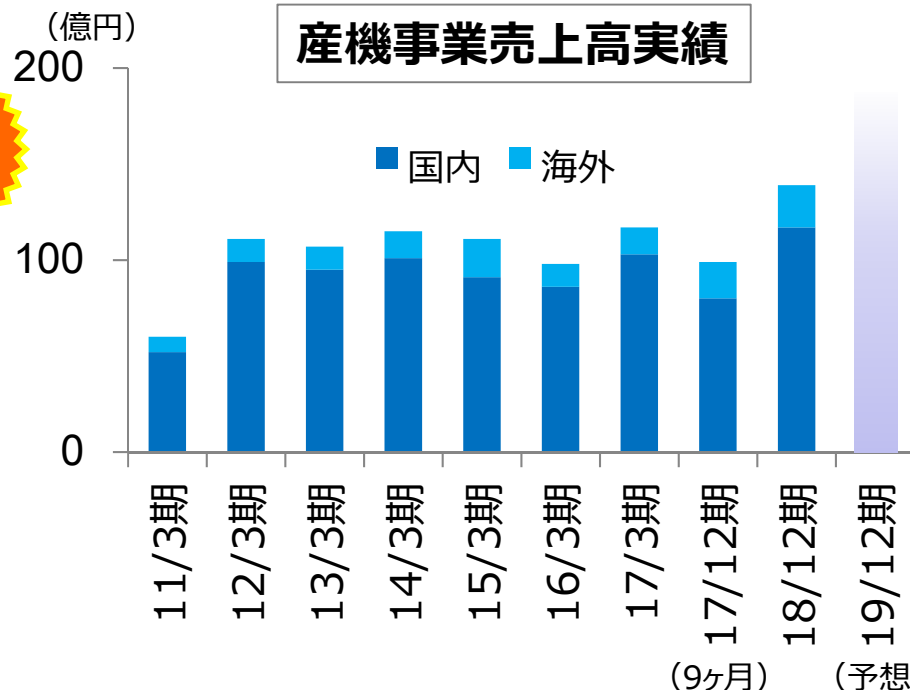
- 新規市場開拓
- OEMビジネスの確立
- 販売ルート of 拡大
- 製品ラインアップの拡充

(カッコ内はすべて17/3期に対する増加率)

北米産機事業販売ルート別割合



産機事業売上高実績



発電体の生産能力増強、4月から稼働開始

- 社名 YAMABIKO VIETNAM CO.,LTD.
- 所在地 ベトナム社会主義共和国ビンズン省
- 総面積 土地（10,000m²） 建物（2,215m²）
- 生産 2018年実績比で7割増（2019年予定）



ベトナム新工場

生産改革の推進

- 販売に同期したPULL型生産への移行
 - 各拠点モデルとなるラインの変更完了（2018年12月）
 - 2019年から全ラインに水平展開（2019年12月完了予定）
- 生産までのリードタイム30%短縮
- 在庫削減
- 生産性向上による原価低減



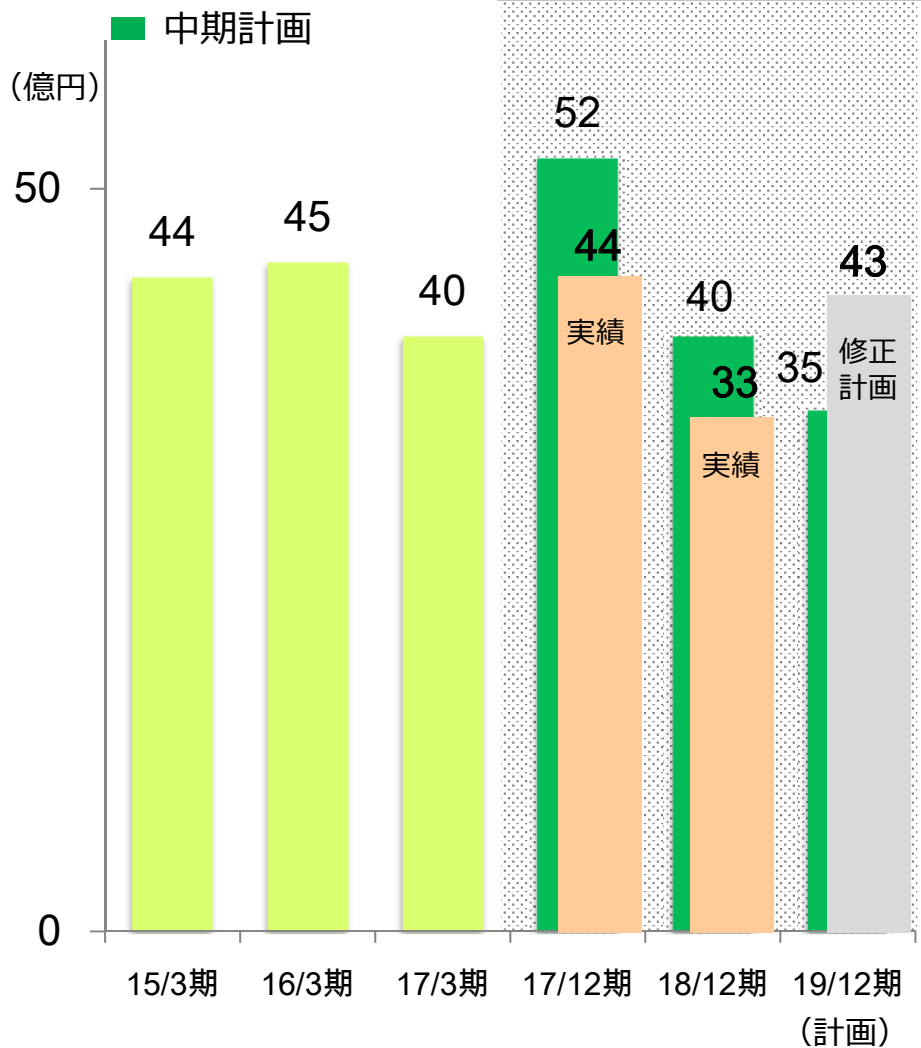
改善前の組立ライン

ライン短縮
作業者減
リードタイム短縮

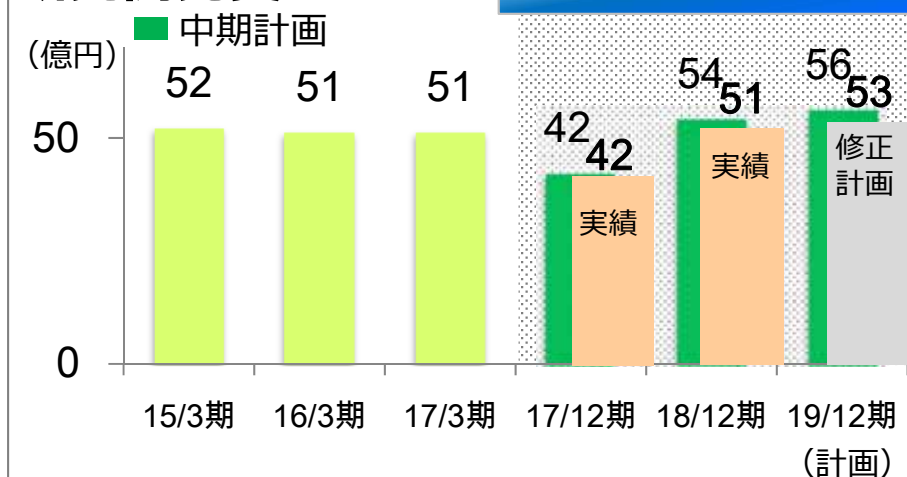


改善後の組立ライン

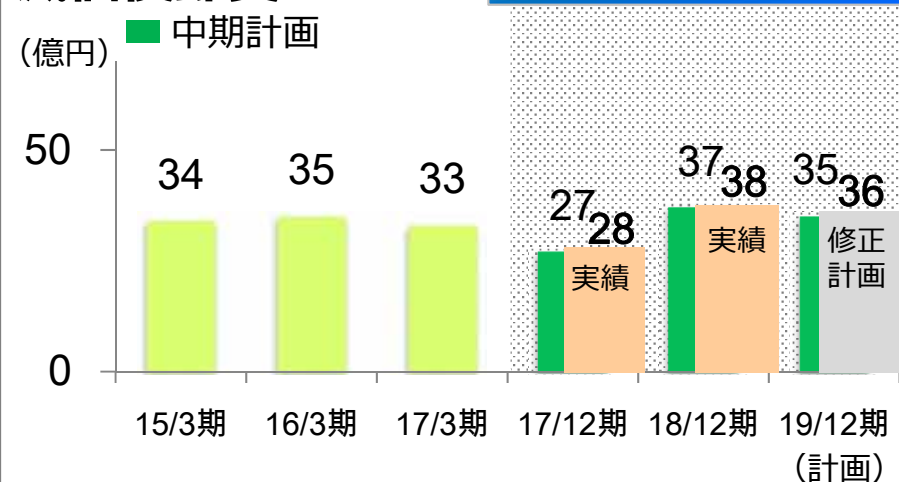
設備投資



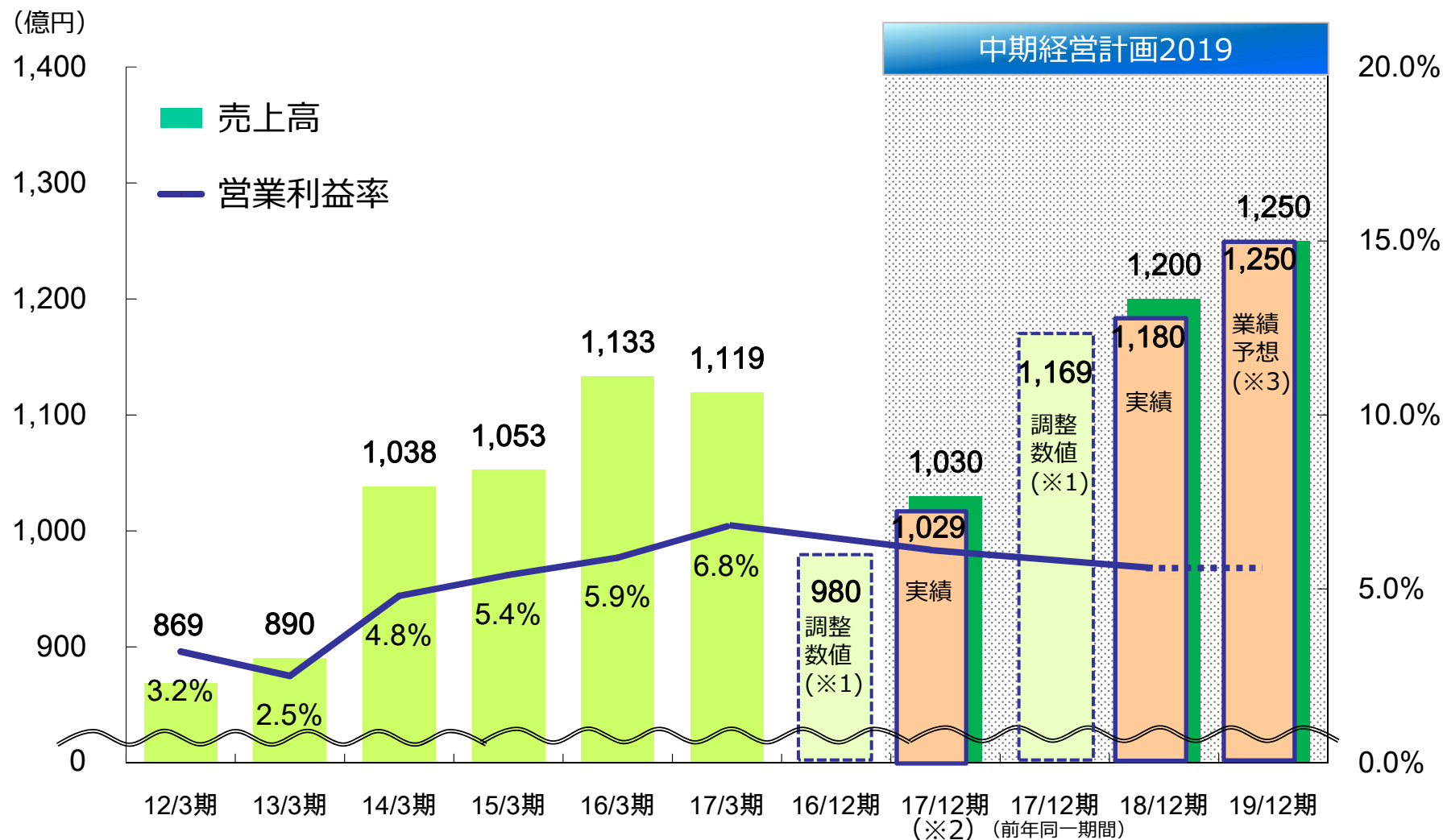
研究開発費



減価償却費



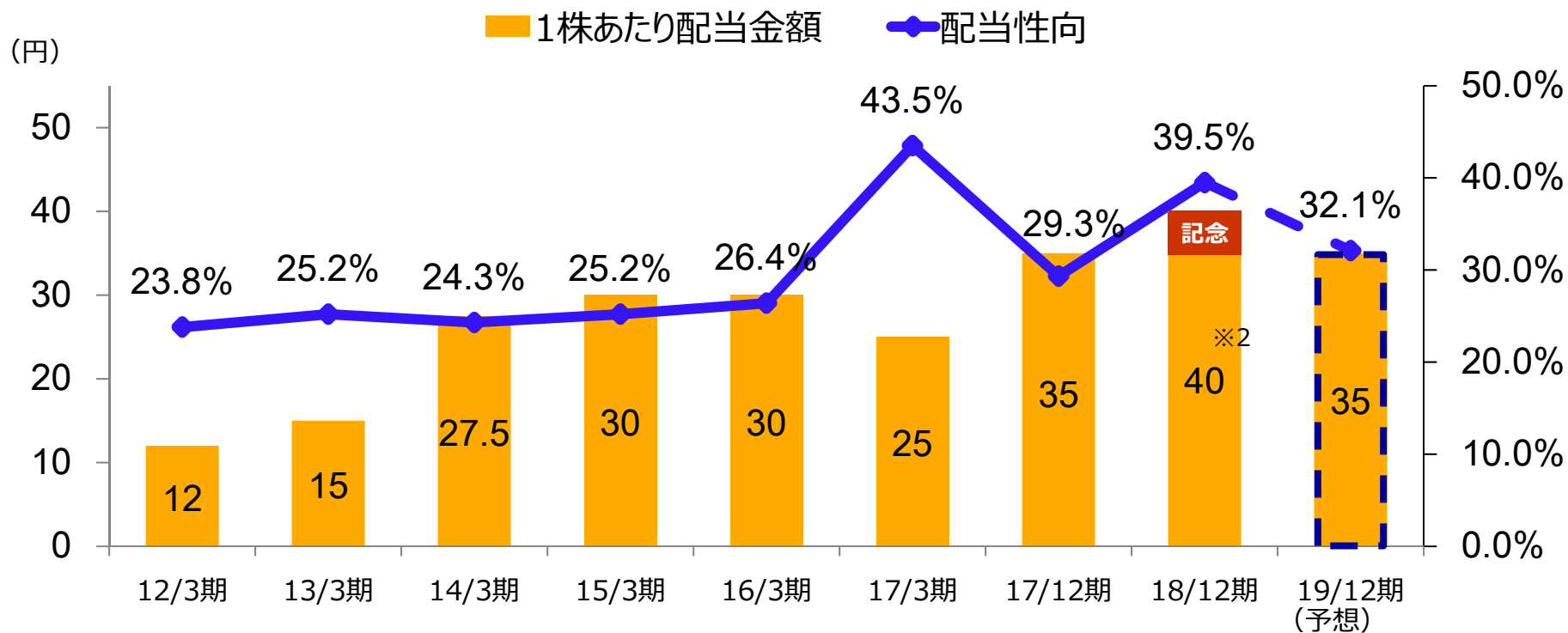
中期経営計画2019年次推移



- ※1. 16/12期および17/12期（前年同一期間）は比較参考用の調整数値であり、監査法人による監査は受けておりません。
- 2. 17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。
- 3. 2月13日業績予想

株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。
 ※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	118,049百万円 (2018年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	16社※ (国内6社・海外10社／2018年12月末現在)
従 業 員 数	3,349名 (2018年12月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2018年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除いております。

	 株式 会社 共立	新ダイワ工業株式会社
設立(創業)	1947年(昭和22年)	1952年(昭和27年)
取扱ブランド	  国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械	 全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械

《 資本提携以前の小型屋外作業機械 (OPE※) 市場の状況 》

- ★ 欧米 (特にアメリカ) の排出ガス規制への技術的対応
- ★ グローバルレベルでの業界再編・競争激化
- ★ 新興国企業の廉価攻勢
- ★ 顧客ニーズの多様化

《 資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯 》

2007年 5 月 業務・資本提携基本契約締結

2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立

2009年10月 『やまびこ』が 共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

＜社名の由来＞ 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

※Outdoor Power Equipment

小型屋外作業機械 (OPE)



(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

長年にわたる蓄積

技術力・生産能力・ネットワーク

合併シナジー顕在化

ラインナップ・販路の拡大



15ヶ国・115回におよぶ
サービススクールの実施
(2015/4~2017/3)

充実したテクニカル
サポート体制

米国EPA※認証数トップクラス
エンジン

固有の
研究・開発力

3つの事業

高い製品シェア
例) 小型屋外作業機械(OPE)
世界: 約10% / 日本: 30%以上

鉄めっき・放電加工

ラインナップ
販売ネットワークの拡大

独自の生産技術力
一貫生産能力

世界90ヶ国以上
2万8千店舗

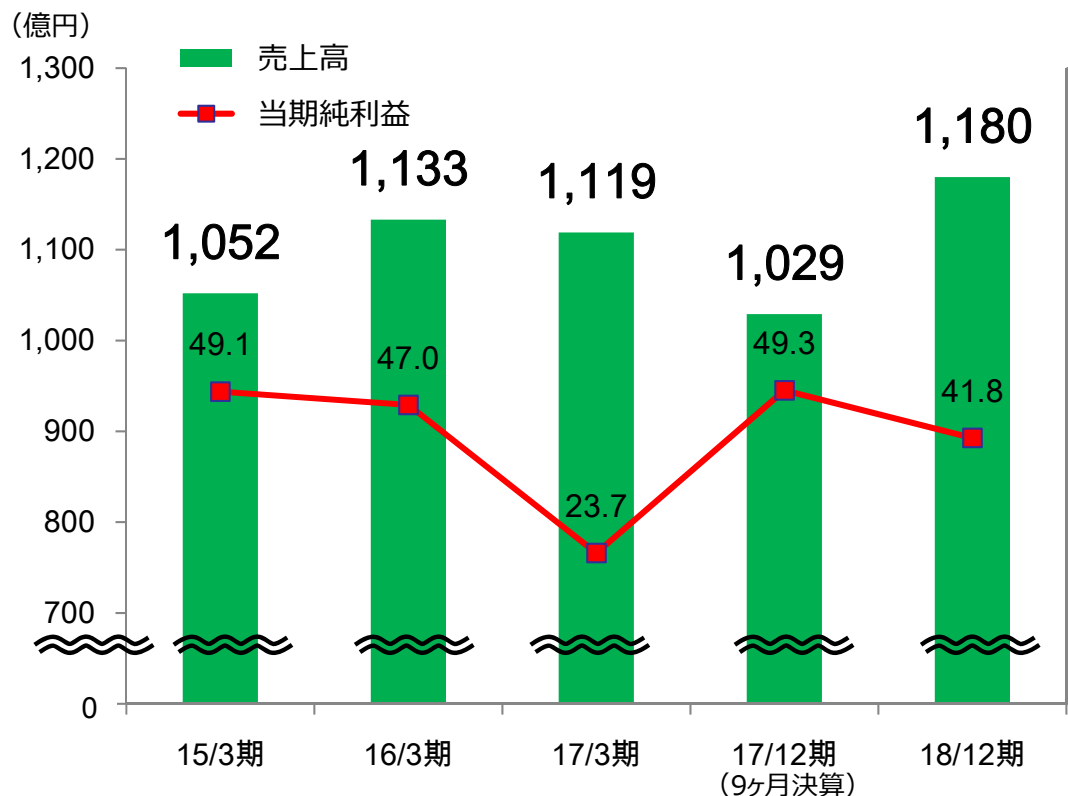
鋳造→熱処理
→機械加工→組立

“グローバル”での“高い競争力”を実現

※米国環境保護庁 当社調べ

為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%超

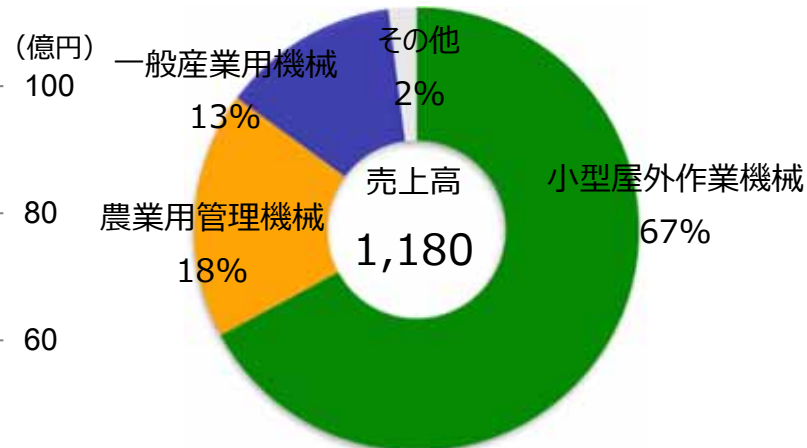
売上高推移



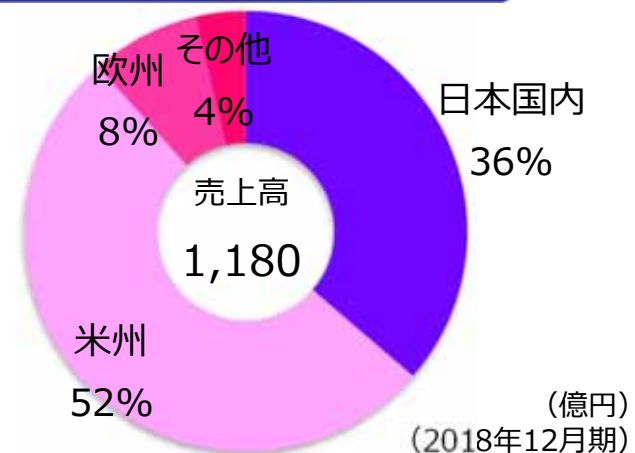
1ドル	110	121	109	112	110
1ユーロ	139	132	120	127	131

(ドルは米国子会社換算レート)

事業別売上高



地域別売上割合

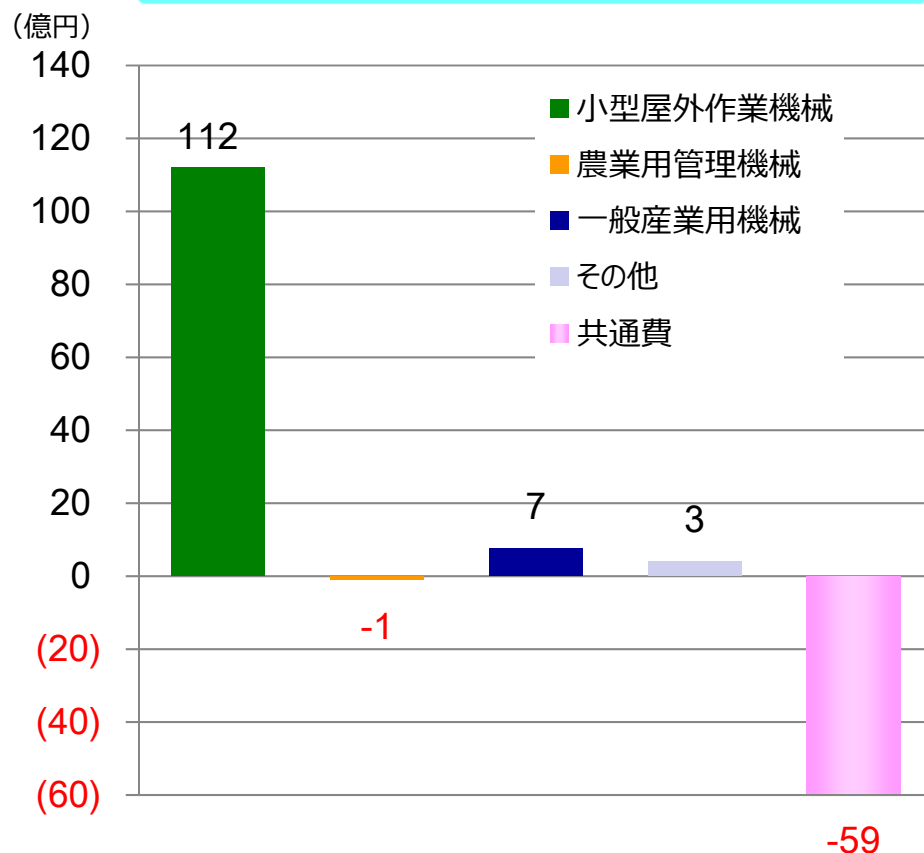


(億円)
(2018年12月期)

小型屋外作業機械（OPE）の収益性の高さが特長

営業利益構成

営業利益：62億円（2018年12月期）



主力製品（刈払機）・アクセサリ・スペアパーツの例



(注)2017年12月期決算期は変更のため、9ヶ月決算となります。

補足資料

セグメントの概要

セグメント（事業）	概要
小型屋外作業機械(OPE※)	「手で持つ」もしくは「背負って」使用する主に小型エンジンを搭載した機械の製造販売、欧州を中心に展開するロボット芝刈機の製造販売
農業用管理機械	国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売
一般産業用機械	建設・土木・鉄工用機械の製造販売
その他	上記に含まれない商品など

主要製品

セグメント（事業）	主要製品
小型屋外作業機械(OPE※)	刈払機、チェーンソー、パワーブロウ、ヘッジトリマー、ロボット芝刈機
農業用管理機械	防除機（動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機）、畦草刈機、大豆収穫機
一般産業用機械	発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機
その他	自動車用試作部品、除雪機

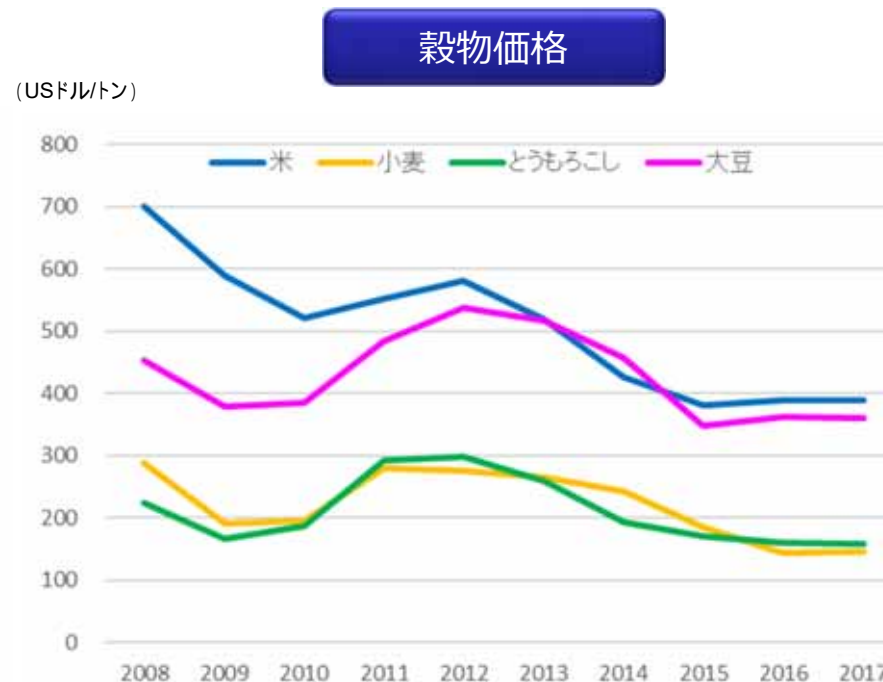
（注）2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

※Outdoor Power Equipment

事業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等 露：原油価格 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等
一般産業用機械	北米：原油価格 等



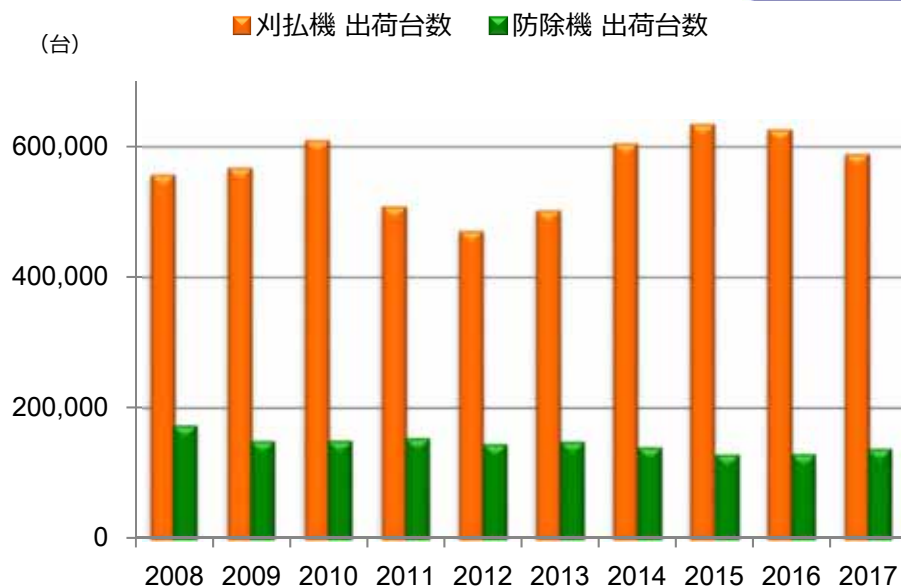
U.S.Census Bureau: New Residential Construction



IMF - Primary Commodity Prices

事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

当社の強み① 小型エンジンの開発力・生産力 (一貫生産体制)



チェンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力

長年にわたるノウハウの蓄積

顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力
(手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数
業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク

2ストローク
(層状)

4ストローク
(混合)

4ストローク
(分離)

当社の強み② 販売ネットワーク

2016年実績



世界 90ヶ国以上 / 2万8千店の販売ネットワーク

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



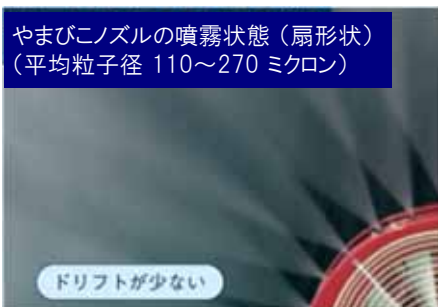
ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

海外： 収穫効率向上のための送風技術（特許）。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまびこ自社開発ノズル



効果的な農薬散布を
可能にした整流機構



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン発電機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積されたA Cモータ開発技術を進化・発展させた
発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相 3線切替なし
同時出力可能 (米国特許・国内
特許取得済み)



防音技術

小型屋外作業機械 (OPE)

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
(米国)

用途開発・製品実験

やまびこヨーロッパ・エス・エイ
(ベルギー)

ロボット芝刈機の設計開発

《開発の重点》

- グローバルレベルでのエンジン排出ガス規制対応
- 北アメリカでの燃料透過規制対応
- ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
- 小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上

(注) 2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

農業用管理機械

農業機械本部開発第一部・開発第二部

農業用管理機械などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ (米国)

チッパーシュレッダー・大型農業機械などの開発

クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー (米国)

農業用排水管理設機械の開発

《開発の重点》

- ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部開発部門
発電機、溶接機などの
設計開発

《開発の重点》

- 小型軽量化・低騒音
・高性能・高機能
・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所

電子・電気制御技術の研究

《研究の重点》

- 電子制御化

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）

防除機の製造（板金・塗装・組立 等）

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）

発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品・歯車

双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品

株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品

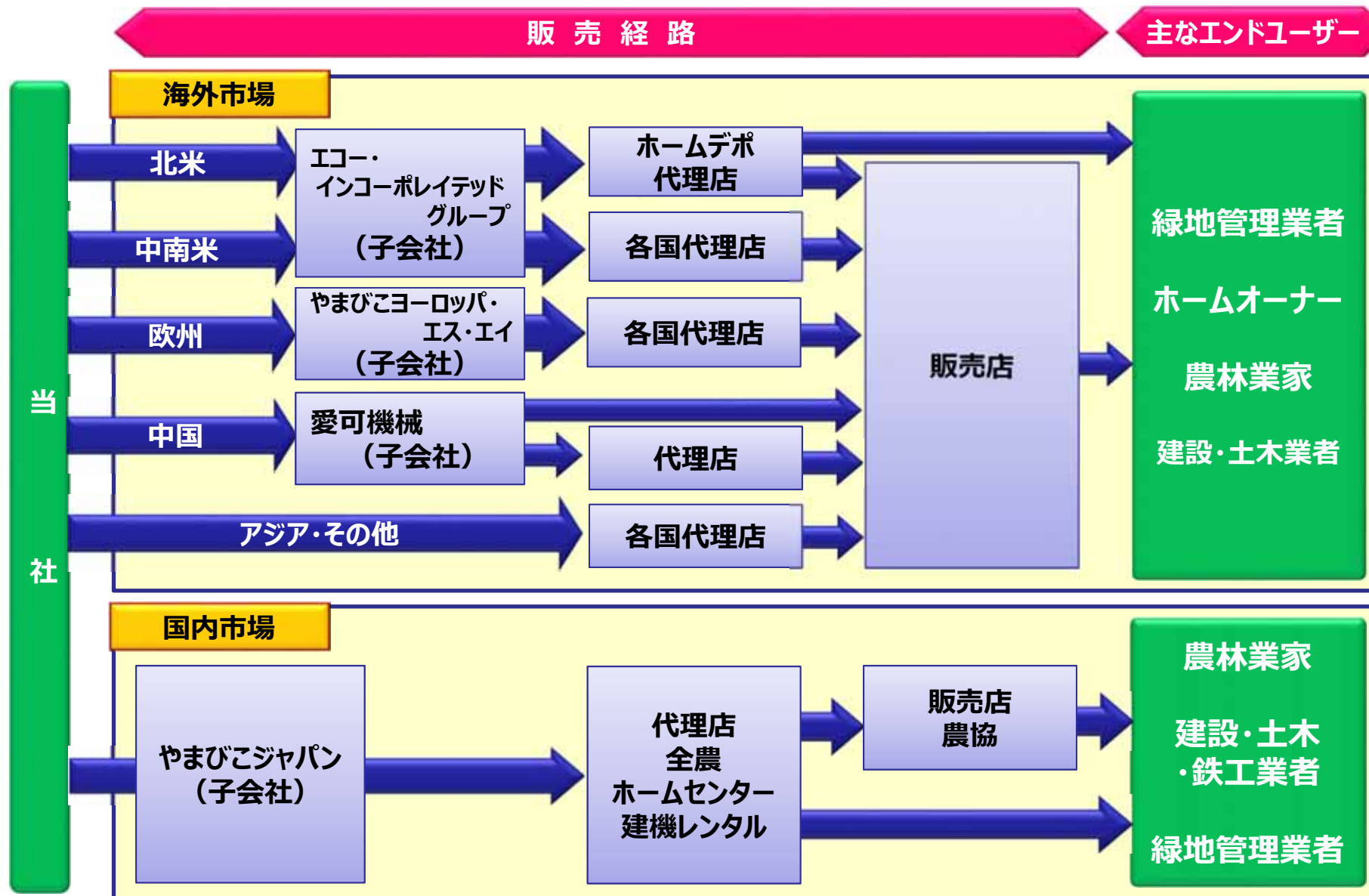
やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工



- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー（アメリカ ミネソタ州）**
農業用排水管理設機械の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **蘇州山彦農機有限公司（中華人民共和国 江蘇省）**
農業用管理機械の製造 ※搭載用エンジンは他メーカーから調達、一部部品は当社国内工場から支給
- **新大華機械股份有限公司（台湾 台中市）**
小型屋外作業機械の部品仕入
- **やまびこベトナム（ベトナム ビンズン省）**
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路



販売店



主なエンドユーザー

海外市場



海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。



ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびCM等で得たイメージをもとに購入する。



海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

国内市場

農林業家

建設・土木
・鉄工業者

緑地管理業者

主なグループ会社の状況（2018年12月31日現在）



		小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
海外	生産 販売	エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ クレイリー・アグリカルチャル ・ソリューションズ・エル・エル・シー	エコー・インコーポレイテッド
	生産	クイック・プロダクツ・インク 新大華機械	蘇州山彦農機	やまびこベトナム
	販売	ゴールデンイーグル ディストリビューティング	愛可機械	
国内	販売	やまびこジャパン		
	生産	追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式 I R 課

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp